

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	重症児デイサービスdash(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日	～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)
			15名
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日	～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)
			10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	Q11.放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこと もと活動する機会がありますか。	・近所の学童クラブとの交流は年に2回程度予定していましたが、感染症の影響で中止になってしまいました。 ・今年度初めて、同法人の他事業所(dash新小岩)と合同のイベントを開催しました。ボランティアの先生をお招きして楽しいイベントになりました。	・来年度も近隣の学童との交流を計画したいです。 ・今後も長期休みの機会に2事業所合同のイベントを企画し、交流の機会を作っていきます。
2	Q17.事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	職員それぞれの立場から、お子様の得意、不得意を見つけ、楽しめる活動や内容を考えています。	お子様の成長や興味関心を引きだし、職員それぞれの専門的な経験や知識を合わせることで、工夫して出来る活動や遊びに発展していけるように、今後も取り組んでいます。
3	Q10.事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	毎月、「今月の絵本」を決め、読み聞かせを行っています。また、絵本の世界観をイメージしやすくなるように、製作や遊びにも取り入れ、ひと月絵本の世界観に浸れるようにしています。	毎月絵本が違うことで、様々な世界観になるため活動内容の固定化がありません。また、製作の材料から感触遊びに発展したり、歌を歌ったり、楽器を演奏したりと幅が広がります。今後も継続し、通所の楽しみにしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	Q18.父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	ご要望はありませんが、現状、保護者会や父母会などは保護者様のご負担も増えるため、実施が難しいと思われる。	保護者会や父母の会、きょうだいじのなどのご要望が多数あった際には、法人内で検討します。
2	Q14.事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	ペアレントトレーニングの知識や経験がある職員がいないため、研修会や実施するスキルが低いのが現状です。	こちらについてもご要望がありましたら、法人内で検討します。
3	Q2.職員の配置数は適切であると思いますか。	法令で定められている配置基準は準拠していますが、看護師や機能訓練士などの人数が少なく、十分なケアが難しいことがありました。	年明けから看護師と機能訓練士の採用が決まったので、順次増えていく予定です。今まで以上のケアが出来るように取り組んでいきます。